（様式１）

**千葉大学国際高等研究基幹（IAAR）　研究支援プログラム**

2023年度　研究支援プログラム計画書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **学際的先端研究支援プログラム** |  | **社会価値創造研究支援プログラム** |

※選択するプログラムのいずれかに，**〇**をご記入ください。

**研究計画名　　　　　　　　　　　　　　　（日本語については40字以内）**

|  |
| --- |
| **日本語：** |
| **英　語：** |

**推進リーダー氏名 　（所属部局・職名）**

|  |
| --- |
| **日本語（漢字/ふりがな）： 　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　）** |
| **英　語：** |

|  |
| --- |
| **推進計画書作成に係る留意事項**  *以下の内容を熟読・理解の上，計画書を作成すること。*  **【プログラムの基本設計】**  ・本プログラムでは，千葉大学の強みとなり得る中堅・若手研究者グループによる先鋭的研究を支援し，更なる高みを目指し研究を展開することを支援する。  ・「学際的先端研究支援プログラム」及び「社会価値創造研究支援プログラム」の計画書には，本支援を得ることで，研究期間内にどの様な研究成果の創出が可能か，研究のさらなる先鋭化は客観的に如何に評価されるか，国内外研究者間ネットワークの構築・強化等はどの様になるか，期間終了時の当該研究の世界的な位置づけを予測し，それを実現するための体制や研究計画（ロードマップ）について示すこと。  ・本プログラムでは，研究者グループが学外から獲得する研究費によって研究を実施することを原則とし，外部資金等では賄うことが難しい特任教員(研究員)等の雇用や研究者間ネットワーク構築のための取組み等に対して，必要な資源を効果的・効率的に配分するものである。  **【調書作成の基本事項】**  ・計画書の各記入欄の記入要領（青字文章）を参照の上，10.5ポイント以上のフォントで作成すること。  （記入要領は必要に応じて削除して差し支えない。）  ・「１．実施体制・概要等　（２）分担研究者」は，原則２人以内とする。  （３）以降は，必要に応じて記入欄を追加することを可とする。  ・「２．研究目的・研究方法など」以降の作成においては，各事項の合計頁数を10頁以内とする。 |

**１．実施体制・概要等　※２頁以内**

　申請する研究推進計画を主体的に実施する推進リーダー，分担研究者，他機関連携研究者及び研究協力者等を記載すること。年齢欄には2023年4月1日時点の年齢を記載すること。研究協力者欄には当該計画の実施にあたり実質的な参画が見込まれる教員について記載し，大学院生等については人数を記載すること。科研費小区分欄には研究代表者として採択実績のある代表的な小区分の名称を２つ以内で記載すること。

**（１）推進リーダー**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | 年　　齢 |  | 職　名 |  |
| 所属部局 |  | 専門分野 |  | | |
| 科研費小区分 |  | |  | | |

**（２）分担研究者（推進リーダー他の学内研究構成員：原則２人以内）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | 年　　齢 |  | 職　名 |  |
| 所属部局 |  | 専門分野 |  | | |
| 科研費小区分 |  | |  | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | 年　　齢 |  | 職　名 |  |
| 所属部局 |  | 専門分野 |  | | |
| 科研費小区分 |  | |  | | |

**（３）****他機関連携研究者**

　他機関連携研究者（構想における分野を先導する研究の推進や国内外研究ネットワークの構築等において，本学内の人的資源では十分に対応できない役割を担う他機関所属の研究者）がいる場合は記載すること。

なお，本プログラムが学内研究推進事業であることを踏まえ，他機関連携研究者が計画の主体とならないよう留意すること。他機関連携研究者に予算配分はない。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | 年　　齢 |  | 職　名 |  |
| 所属部局 |  | 専門分野 |  | | |

**（原則，３名以内）**

**（４）研究協力者（****学内教員）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 |  | 年　　齢 |  | 職　名 |  |
| 所属部局 |  | 専門分野 |  | | |
| 科研費小区分 |  | |  | | |

**（原則，５名以内）**

**（５）研究協力者（教員以外）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 博士研究員等 | 人 | 技術職員，技術補佐員等 | 人 |
| 大学院生　後期博士課程等 | 人 | 事務職員，事務補佐員等 | 人 |
| 大学院生　前期博士課程等 | 人 | その他（　　　　　） | 人 |

**（６）研究目的・方法の概要　※０．５頁以内**

研究目的・方法の概要を文章形式で，概ね６００字程度（英文の場合は概ね２００word程度）で記述すること。

**（７）推進メンバーの役割分担と実施体制　※０．５頁以内**

研究推進計画に参画する教員等が計画を実現するために，推進リーダー，分担研究者（必要に応じて，他機関連携研究者，研究協力者（学内教員）としての役割分担を明確にして，研究チームとして機能する実施体制について体系的（箇条書き又は概念図）に記述すること。

**２．研究目的・研究方法など　※２～３頁以内**

本研究の目的と方法などについて，３頁以内で記述すること。

(1)本研究の学術的背景，研究課題の核心をなす学術的「問い」

※研究分野の現状分析を含めて記載すること。

(2)本研究の目的及び学術的独自性と創造性

(3)本研究の着想に至った経緯や，関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ

※本学研究と競合する国内外研究とその概要，競合する研究と本学研究との比較，本学研究の優位性，関係性についても具体的に記載すること。

(4)本研究で何をどのように，どこまで明らかにしようとするのか

※研究計画を実現するための方法を含めて，記載すること。

なお，「社会価値創造研究支援プログラム」については，社会実装，イノベーション創出のみならず，推進過程において開発される要素技術や装置・システム等の社会実装の可性能及び社会提言の基盤となる新たな理論・知見等も含む。

(5)本研究の目的を達成するための準備状況について具体的かつ明確に記述すること。

(6)2022年度 研究支援プログラム（前回）に応募し不採択であった場合は、前回応募時との違いを具体的かつ明確に記述すること。

**３．推進リーダー等のこれまでの研究力**

**（1）推進リーダー，分担研究者（２名以内）の研究遂行能力及び研究環境　※１頁以内**

申請者（推進リーダー，分担研究者）の研究計画の実行可能性を示すため，以下の（１）〜（３）について記載すること。

(1)これまでの研究活動

(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）

(3)学外において推進研究に関連のある社会的及び研究的な側面を含む活動

なお，特に重要なものについては，簡単なコメントを付すこと。

**（2）推進リーダー，分担研究者（2名以内）の研究業績等　※２頁以内**

　研究グループ構成員が2016年４月から2022年12月提出日までに挙げた実績（学術論文，著書，国際共著論文，招待講演，特許，等）のうち，推進リーダーは１頁，分担研究者（２名以内）は１頁，申請する研究推進計画に関係が深い研究業績（３編以内）を記載すること。特に重要なものについては，簡単なコメントを付すこと。

なお，各々の研究業績が確認できる最新のresearchmap及びそれ以外で研究業績等がわかるWebサイトのURLも併せて記入すること。

**４．人権の保護及び法令等の遵守への対応　※１頁以内**

本研究を遂行するに当たって，相手方の同意・協力を必要とする研究，個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究，生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合，講じる対策と措置を記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む），提供を受けた試料の使用，ヒト遺伝子解析研究，遺伝子組換え実験，動物実験など，研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には，その旨記述すること。

**５．推進研究のための外部資金等の獲得状況　※２頁以内**

　研究グループによる研究推進計画の実施に係る研究費の獲得（確保）状況について記載すること。

なお，下記に記載する競争的資金，外部資金（科学研究費助成事業，政府系（省庁等）事業，企業等との共同研究，受託研究等）等は，研究グループ構成員（推進リーダー，分担研究者）のいずれかが代表研究者であること，もしくは推進リーダー・分担研究者が，個々に，相当額以上の研究費を獲得（確保）していることとする。

（千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **代表者**  **氏名** | **外部資金等の**  **事業等名称** |  | **2019** | **2020** | **2021** | **2022** | **2023** | **2024** |
|  |  | 記入例： |  |  |  |  |  |  |  |
| 1-1 | 推進ﾘｰﾀﾞｰ  氏名 | 科研費基盤（A）：  課題名： |  |  | 20,000 | 10,000 | 10,000 | 10,000 |  |
| 1-2 |  | ●●●●事業費（JST）  課題名： |  |  |  |  |  |  |  |
| 1-3 |  | ●●●共同研究費（●●企業）  テーマ： |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 2-1 | 分担研究者  氏名 | 科研費基盤（B）：  課題名： |  |  |  | 8,000 | 4,000 | 4,000 | 4,000 |
| 2-2 |  | ●●●補助金（●●省）  課題名： |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3-1 | 分担研究者  氏名 | 科研費基盤（C）：  課題名： |  |  | 1,500 | 1,000 | 1,000 | 1,000 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**６．その他**

（１）本申請に伴う人件費を含む研究経費の積算内訳及び更なる競争的資金，外部資金（科学研究費助成事業，政府系（省庁等）事業，企業等との共同研究，受託研究等）等の獲得計画については，ヒアリング対象研究計画になった段階で，改めて求めることとする。

（２）本申請は，IAAR運営委員会で書面審査（評価）を行うこととしており，研究計画の内容によっては，学外（国外を含む）識者に評価コメントを求めることが想定されるが，ヒアリング対象研究計画になった段階で求めることとする。